

(公財)板橋区文化・国際交流財団の組織改革・強化の成果報告 及びミッション達成の方策について

区は、令和2年第4回定例会（令和2年12月1日区民環境委員会）「公益財団法人板橋区文化・国際交流財団の組織改革について」にて、公益財団法人板橋区文化・国際交流財団（以下「財団」という。）が、文化会館・グリーンホールの指定管理者を担うべく、組織の改革・強化に取り組んでいく旨を報告した。

以来、現在までに取組んできた財団の組織改革・強化の成果や、今後の方針を報告するとともに、上記委員会報告で示した財団のミッションを達成するための具体的な取り組みを示す。

1 財団の組織強化・改革の成果

別添1「(公財)板橋区文化・国際交流財団の組織改革・強化について」のとおり

2 財団のミッション

- (1) 文化芸術を通して創造性をはぐくみ、心豊かな区民生活の実現とまちの個性と魅力を高める。
 - ・文化芸術に親しみ楽しむまちづくり
 - ・区民の創造活動支援
 - ・文化芸術による人育て
 - ・特色ある文化芸術活動のわかりやすい発信
- (2) 区の文化芸術の特性・資源を活かし、区民主体の文化芸術活動の新たな広場となる。
 - ・区内芸術家の発掘と紹介
 - ・文化芸術活動を行う区民との連携強化
 - ・区民参加型事業の拡充
- (3) 誰もが参加し享受できる社会的包摂機能を持つ文化芸術活動を展開する。
 - ・多様な人々が集い交流する場づくり
 - ・地域課題の解決支援

3 ミッションを達成するための具体的な取り組み

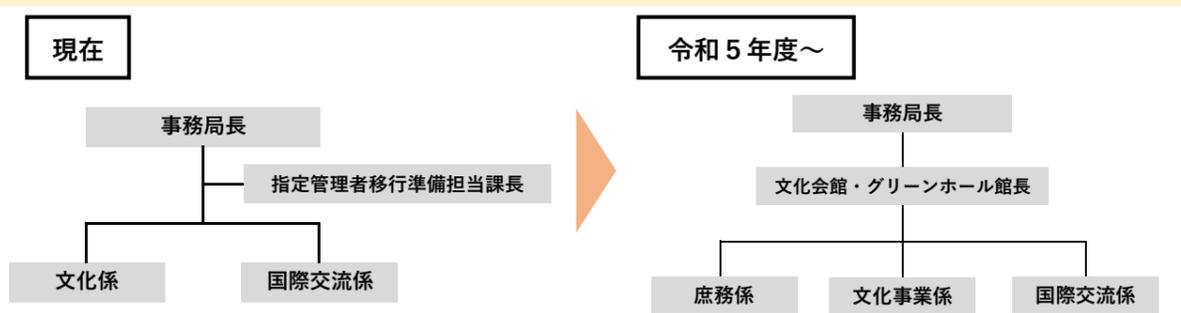
別添2「(公財)板橋区文化・国際交流財団のミッション達成のための今後の取組」のとおり

(公財) 板橋区文化・国際交流財団の組織改革・強化について

指定管理者への移行に伴い取組む組織改革・強化

財団事務局の組織機構・定款変更

- 指定管理業務を担うにあたっての館長ポストの設置や係体制の変更
 - ▷文化会館とグリーンホールを統括する「文化会館・グリーンホール館長」を設置
公立文化施設館長経験者を R4～準備担当課長として採用し、R5～館長に就任。
 - ▷係体制を「庶務係」「文化事業係」「国際交流係」の3係体制に変更



- 指定管理事業の実施に向けた定款等の変更
 - ▷東京都公益認定等審議会において、令和4年9月に定款等変更が承認されている。

財団固有職員の雇用

- 継続性・専門性を高めるための区派遣職員からの切り替え
 - ▷区派遣職員 9人→4人、財団固有職員 9人→18人 (令和7年度までに)
 - ▷現在の財団と指定管理者を合わせた人員数は維持。
- 固有職員雇用に伴う就業環境整備 (R4年度から実施済)
 - ▷民間事業所の実態を踏まえた人事・給与制度の整備
 - ▷働き方改革等を踏まえた柔軟な勤務環境

年度	令和4	令和5	令和7
区派遣	9	7	4
財団固有	9	15	18
財団計	18	22	22

執務環境・施設環境の変更

- 財団職員の執務場所移転と文化会館・グリーンホールの館内レイアウト変更
 - ▷現在、財団と指定管理者で分かれているフロアを一体化し、業務の効率化を図る。
 - ▷国際交流係の拠点を区役所北館8階からグリーンホール1階へ移動。

営業力の強化

- 文化会館・グリーンホールの利用率向上に向けた貸館営業の検討、財団収益事業の導入
 - ▷貸館営業戦略の策定や会館パンフレットをリニューアルしたうえで、貸館営業を実施。
 - ▷イベントプロモーターや、区内商店街・企業へのアプローチを行う。
 - ▷指定管理者として実施する貸館事業の利益の一部を原資に、事業を拡充していく。

組織拡大に合わせ財団として取組む組織改革・強化

財団のプロモーション力強化

- 財団情報誌「ふれあい」・財団ホームページの見直し
 - ▷文化会館・グリーンホールや財団の文化事業、区内の文化芸術活動を合わせた、総合的なプロモーションの実施。
- SNS (Twitter・Facebook・Instagram) を含めた情報媒体の活用に関するプロモーション戦略の立案
 - ▷財団が保有する各種ツールを連携させた戦略的なプロモーションの実施。

財団が保有するプロモーションツール

- 財団HP ■財団情報誌「ふれあい」 ■財団公式 SNS (Twitter・Facebook・Instagram)
- チラシ・ポスター ■広報いたばし内「芸術をあなたに」 ■区関係部署HP など

多文化共生・国際交流の強化

- 多文化共生・国際交流 情報発信スペースの設置
 - ▷グリーンホール1階に設置し、様々な情報が収集できるスペースに。
- 相談体制の強化
 - ▷在住外国人が生活する中での困りごとを気軽に相談できるような体制を整備。
- 多文化共生を担う人材の育成
 - ▷地域で活躍する外国人や、区内の日本語学校・日本語教室を修了した外国人など多文化共生を推進するうえでのキーパーソンを、多文化共生推進の大使として任命。
- やさしい日本語の普及
 - ▷窓口対応・情報発信の際にやさしい日本語を活用するとともに、区民・区職員を対象とした研修や普及活動の実施。

財団としての文化事業強化

- アウトリーチやアーティストバンクの活用など財団の文化事業の強化
 - ▷アウトリーチ派遣先のニーズに合った事業が実施できるよう、メニューを拡充。
 - ▷アーティストバンクに登録しているアーティストのPRパンフレットを活用し、PR活動やイベント主催者とのマッチングの実施。
- 指定管理事業の新たな方向性の提示

①施設活用事業

大ホール利用のない日を活用した大ホールロビーの開放 など

②施設周知事業

車内広告・CM・駅ポスター含む新たなプロモーション など

③利便性向上事業

イベントチケットの受託販売やキャッシュレス決済の導入 など

(公社) 全国公立文化施設協会の助言、アドバイザーの派遣

(公財)板橋区文化・国際交流財団のミッション達成のための今後の取組

財団のミッション

1 文化芸術をとおして創造性を
はぐくみ、心豊かな区民生活の
実現とまちの個性と魅力を高める。

1-①
文化芸術に親しみ楽しむまちづくり

1-②
区民の創造活動支援

1-③
文化芸術による人育て

1-④
特色ある文化芸術活動のわかりやすい発信

2 区の文化芸術の特性・資源を
活かし、区民主体の文化芸術活動の
新たな広場となる。

2-①
区内芸術家の発掘と紹介

2-②
文化芸術活動を行う区民との連携強化

2-③
区民参加型事業の拡充

3 誰もが参加し享受できる社会的包摂
機能を持つ文化芸術活動を展開する。

3-①
多様な人々が集い交流する場づくり

3-②
地域課題の解決支援

ミッション達成へ貢献

オープンな文化施設の実現による賑わいの創出

▶ 文化会館大ホールロビーなどの開放(1-①②③④、2-①②、3-①)

大ホール利用のない日の空き活用を行い、大ホールロビーなどを開放します。ロビーでは、区ゆかりのアーティストによるミニライブや、アーティストや区内企業などによるワークショップを開催します。また、入口付近には自由に弾けるピアノを置き、施設の新たなシンボルとします。駐車場にはキッチンカーの出店を募集するなどして、誰もが気軽に訪れることのできる施設を目指します。

▶ 文化芸術情報の発信(1-①②③④、2-①②、3-①②)

大ホール入口付近の一番目立つ場所に、文化芸術の情報発信スペースを設置します。情報発信スペースは、区内の文化芸術活動を総合的に発信していく場所として位置付けていきます。そこでは、区内の民間施設で行われる様々なイベントに関する情報も発信することで、区内の文化芸術活動を盛り上げていきます。

事業企画・連携を通じた認知度・施設利用率の向上

▶ 新たに取組む公演・イベント(1-①②③④、2-①②③、3-①②)

これまで財団と指定管理者とで重複が指摘されてきた文化事業について、事業の総数を減らすことなく重複を整理し、今後は財団の目的事業として実施します。新たな事業として、小ホールを活用した映画上映会「板橋ムーンライトシアター(仮称)」を定期開催し、地元上映団体の育成を行います。また、サクソン&フルーツフェスティバル(仮称)を開催し、区内楽器製造業者等の紹介や、アーティストバンク登録者の演奏会などを行います。

▶ 区内大学・企業などとの連携強化(1-①②③、2-②、3-②)

板橋区内6大学をはじめとする教育機関などとの連携を強化し、大学でのサークル活動の発表の場の提供や、eスポーツ大会の開催誘致などを検討します。また、区内ものづくりトップ企業などの紹介を板橋区産業振興公社と連携しながら実施し、区内産業の振興に貢献します。このほか、企業・個人サポーター制度の創設などにも取り組めます。

総合的なプロモーション活動

▶ 未開拓分野への挑戦(1-①④、2-①)

車内広告やCM、駅貼りポスターの掲出、近隣文化施設との協力関係の構築など、これまでに行っていなかった情報発信に取り組めます。また、現在、タブロイド判で発行している広報誌「ふれあい」を小冊子に変更し、若者世代にも電車の中などで読んでもらえるようにします。また、取材記事を掲載するなど、読み物的な要素を追加します。そのほか、「絵本のまち」や「澁澤榮一」のような板橋区のポテンシャルを活用した情報発信にも取り組めます。

▶ 東京ロケーションボックス(映画などの制作支援窓口)との連携(1-④、3-②)

文化会館をロケ撮影協力施設に登録し、撮影誘致を行います。映画やドラマに施設名が出ることで、宣伝効果が期待できるとともに、施設使用料などの収入増につなげることができます。また、板橋区のフィルムコミッションとも連携することで、街の賑わいの創出や地域の活性化につなげ、映像文化や映像産業の振興を図ります。

多文化共生・国際交流活動の強化

▶ 多文化共生・国際交流拠点の整備(3-①②)

グリーンホールは、小ホールも備えた貸会議室機能が中心となった地域コミュニティの中心施設です。今後は、グリーンホールを拠点として多文化共生・国際交流事業を推進し、地域コミュニティにおける多文化共生・国際交流を強化していきます。また、区内の多文化共生・国際交流活動の情報収集ができる情報発信スペースを、グリーンホールエントランスに設置します。

▶ 財団における支援体制の強化(3-①②)

区内在住外国人が生活するなかでの困りごとを気軽に相談できるように、まずはメールによる相談体制を整備し、今後の体制の方向性を検討していきます。財団日本語教室においては、対象の拡大やオンライン授業の導入など、事業拡充について検討してきます。そのほか、「やさしい日本語」の研修や啓発活動を実施したり、多文化共生推進大使の任命を行ったりするなど、様々な取組を推進します。